

第 89 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 4 月 19 日(月)10：30～11：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<報告>

- ◇ 「感染者急増時の緊急対応方針」を策定したことの報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、新木 県警警備二課長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部長、宮城 文化観光スポーツ部長、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、新規陽性者及び療養者の状況について報告。【資料 1】
 - ✓ 昨日、92 人の新規感染者が確認されている。入院中が 407 名、そのうち重症の治療をしている方が 12 名、中等症の方が 177 名。療養中患者の合計は 1,262 名でこれまでで最も多い数となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告。【資料 2】
 - ✓ 4 月 16 日 5 名の陽性者が出ており、合計で 1,251 名の陽性者がでている。
 - ✓ 11 日からの 1 週間で米軍基地関係の感染者が 35 名でている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。

【資料 3、3-1～3-9】

- ✓ 療養者数 1,262 人となっており、これまでで最も多くなっている。
- ✓ 病床占有率について 95.3%となっている。重症者も先週比多くなっている状況。
- ✓ 新規感染者数について 4 月 14 日から 4 月 16 日までは、1 週間前の数より減少した日が 3 日続いたが、4 月 17 日に 167 名と過去最多の数字となった。
- ✓ 患者の症状について、重症患者と中等症患者を合計した数を 4/10 と 4/17 を比較すると 1 週間で 1.35 倍に増加し病床を圧迫する一因につながっているとおもわれる。
- ✓ 国と沖縄県の感染警戒レベル判断指標の比較について国の判断指標の見直しがあり、「現時点での確保病床」が削られ「最大確保病床」でみていくこととなった。数値が上昇しているが、今後病床確保計画の見直しをしていくのでそれにあわせて数値も変動していく。また「入院率」という新しい指標は「療養者数」を分母に「入院者数」を分子にして算定するものであり、沖縄県では 32.3%となっている。
- ✓ 非コロナ病床の利用率について、厳しい状況が続いている。
- ✓ 全国の「直近 1 週間の人口 10 万人当たり新規感染者数」は全国 2 位となっているが、本日のデータでは兵庫県が沖縄県を抜いて 3 位になる見込み。
- ✓ 各保健所管内の圏域毎の状況をみると、中部、南部、那覇以外にも感染が広がっている可能性がある。
- ✓ 新規感染者数に占める 60 歳以上の割合が上昇してきている。
- ✓ 重症者、中等症患者の人数も過去最高の数となっている。
- ✓ 推定感染源について、家庭内、会食、接待を伴う飲食の割合が 2 月に比べてかなり増えてきている。県外からの感染もすこし増えてきている。
- ✓ 3 月の感染について年代別でみると、20 代～40 代が感染の中心であった。

(4) 宿泊施設の運用状況について

- 総括情報部より宿泊療養施設の入居状況等について報告。【資料 4】

- ✓ 現在 5 つのホテルが稼働しており、150 名のホテル療養者がいる。

(5) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告。【資料 5】
 - ✓ 規模としては 10 名程度のもが多く、大規模なものは出ていない。
 - ✓ 家庭内や社会福祉施設などでクラスターがでている。

(6) 宮古・八重山地域の感染状況について

- 総括情報部から、宮古・八重山地域の状況について報告。【資料 6】
 - ✓ 宮古地域は継続的に感染が確認されており、増加が急になってきている。週間の合計が 34 名。入院が 14 名。宿泊療養施設等も使用して患者の受け入れを行っている。
 - ✓ 八重山地域は 16 日に 7 名出たが、昨日、一昨日は 0 になっている。

(7) 変異株について

- 総括情報部から、変異株の検査状況について報告。【資料 7】
 - ✓ 衛生環境研究所の変異株検査について、N501Y が検査数に対して 2 割程度の陽性率となっている。
 - ✓ 国立感染症研究所で月 1 回 E484K について検査しているが、98 件中 79 件陽性が出ており、今一番多くなっているのは E484K でないかと考えている。

(8) ワクチン対策チーム進捗状況報告

- 総括情報部から、ワクチン対策チームの進捗状況について報告。【資料 8】
 - ✓ 4 月 16 日時点で医療従事者向けワクチン接種数が 30,494 回となっている。少しずつ接種完了者が増えてきている。
 - ✓ 住民向け接種も宮古島市やうるま市津堅島での接種を開始している。

(9) NAPP・TACO・RICCA等の状況について

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査等の実施状況について報告。【資料 9】
 - ✓ NAPP の受検数は 3 月 29 日から 4 月 4 日の間 748 人で、陽性者はいなかった。

- ✓ TACO について 4 月 12 日～18 日の間に 117, 558 名が通過し、その内 2 名の発熱者が見つかり、問診につなげた。1 名陰性、1 名は医師の判断で検査なし。
- ✓ 電話対応 24 件の対応、問診となったのが 5 件ある。
- ✓ RICCA の登録者数について、4 月 19 日時点 89, 113 人となっており、前回比 2, 505 人増えている。

○新型コロナウイルス感染症にかかる県立病院の状況について

- 病院事業局から、県立病院の状況について報告。
 - ✓ 伊是名村で PCR 検査を昨日行った。
 - ✓ 救急を止めないためにも不要不急の救急室受診を控えるよう呼びかける必要がある。

(質疑応答)

- 重症者、中等症の患者数について 1 月下旬～2 月下旬のピーク時と同数。その時と比較して感染者の年代に変動がみられるのか。変異株は基礎疾患のない 40 代の方でも重症化する可能性があるとの報道があるが、影響はあるのか質問。
 - ✓ 病院の医師の話では若い人でも症状の進行のスピードが速く重症化しているという話もあるので、変異株の影響があるのか確認したい。
- 中南部の病院の病床を増やすことが可能なのか質問
 - ✓ 本日病院長会議があるので増やすことが可能か確認する。

(10) 検査事業の実績について

- 総括情報部から、検査事業の実績について報告。【資料 10】
 - ✓ 安価な PCR 検査補助実績について、4, 264 名の受検者の内、66 名とこれまでよりかなり高い陽性率となっている。増加について注目している。
 - ✓ 飲食店検査の実績について、松山地域実施後、対象拡大した地域で 2 名の陽性者が確認されており、これも高い割合と感じている。
 - ✓ モニタリング検査の実績(3/29～4/11)について、0. 20%の陽性率となっている。

(質疑応答)

- モニタリング検査はどこで実施されているのか質問。
 - ✓ 国で行っている調査であり、専門学校や繁華街等で実施したものと聞いている。
- 安価なPCR検査の陽性率について、検査機関で判明した陽性率なのか、検査で陽性となった後、医療機関で検査を行った後の陽性率なのか質問。
 - ✓ 各検査機関で陽性となったものの割合である。
- 検体がコンタミネーションにより再度検体提出を要するといった事例があったのか質問。
 - ✓ 昨日検査センターでそのような事例があり、他の検査機関に再委託して改めて検査を実施している。

(11) まん延防止等重点措置の指定に伴う対策の効果等について

- 総括情報部から、対策の効果について報告。

【資料 11-1～11-3】

- ✓ 推定感染源が飲食関係の市町村別陽性者数について、3月21日から3月27日において136名出ていたが、その後緊急特別対策、まん延防止等重点措置を実施したが、上下を繰り返しM字型のような変動をしている。1週間程度タイムラグがあるので引き続き注視していく。
- ✓ 宮古地域で18%と高い状況になっている。
- ✓ 県外からの移入例について、3月後半から陽性者が続いている。県民の往来による感染事例が多くなっている。

(12) 営業時間短縮要請の協力状況について

- 総括情報部から、飲食店等に対する見回り状況について報告。【資料 12-1～12-3】
 - ✓ 飲食店等に対する見回り状況について、2種類の見回りを実施している。
 - ✓ ひとつは、感染防止対策・認証制度プロジェクト、もうひとつは飲食店時短要請確認調査となっている。

- ✓ 感染防止対策・認証制度プロジェクトについて4月12日から行われており、すでに4,310軒の訪問を行っている。店内確認できた施設の内、約半数が国の4項目対策済の店舗であった。
- ✓ 飲食店時短要請確認調査について、4,122軒の調査を実施している。そのうち4,062軒が時短要請に協力している。

(13) 感染者急増時の緊急的な患者対応方針について

- 総括情報部から、感染者急増時の緊急対応方針について報告。【資料13、13-1】
 - ✓ 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡により、4月中に感染者急増時の対応方針を策定するものとされた。
 - ✓ 県は現在急激な増加傾向が認められるため、当該方針に沿った対応を発動する必要があり、資料13のとおり策定したことを報告。
 - ✓ この対応方針を、本で行われる病院長会議において示し、各医療機関からの理解を求めたい。

(質疑応答)

- 自宅等で療養とならざるを得ない方への健康観察体制の確保において、パルスオキシメーターの必要個数の確保について質問。
 - ✓ 自宅療養者用に現在300個確保している。全員ではなく、特に重症度リスクの高い人について配布する仕組みを検討している。
- 自宅療養健康観察体制について、どのような指導を行っていくのか質問。
 - ✓ 自宅療養者の体調の変化を早めに掴み、適切な受診に繋げることが大事である。健康管理センターの医師に早めに体調変化の状況を伝えられるようにパルスオキシメーターを利用していく。
- 県民等救急医療の適正受診の呼びかけを行う上で例示を行えるよう依頼。
 - ✓ 小児医療においては#8000を利用するよう呼びかけるのも大事。
 - ✓ 病院長会議でも各医療機関の考え方を伺う。

- 軽症者向け宿泊療養施設の新規確保について質問。
 - ✓ 公募等を通じて確保したいと考えている。
 - ✓ 紹介があったホテルもあるが、動線の確保等で課題があり、宿泊療養施設としては不向きなものであった。
- 巡回指導を行った職員からの意見について、どのように対応するか質問。
 - ✓ 今後の巡回についてQ&Aなどを作成し対応したい。

＜会議のまとめ＞

- ◇ 「感染者急増時の緊急対応方針」について、対策本部において確認を行った。

3 その他報告

特になし

4 閉 会